



私たちの 町議会 びらとり



▲平取町の知られざる風景（二風谷カンカン沢） 撮影者 船越光次 氏

議員紹介～今期の抱負～…………… P 2

ここが聞きたい **一 般 質 問**…………… P 4

新しくなった議会の構成…………… P 7

常任委員会報告…………… P 8

審議した議案
第 3 回臨時会・第 4 回臨時会・第 5 回定例会…………… P 11

教育行政報告 第 5 回定例会…………… P 12

議会だより第 100 号の発刊によせて…………… P 13

あの人に聞く…………… P 14

第 100 号 発刊記念号

vol. **100**

2019.8.9

議員紹介

～今期の抱負～



金谷 満 議員

昨今、少子高齢化が進む中2025年で団塊の世代の方々が後期高齢になります。より良い医療連携による在宅医療などの適切な医療体制の、福祉については介護予防の日常生活支援事業強化、障がい者の就労支援、共同生活援助事業などの確立を図り、町民が安心して暮らせる町を目指して、積極的に議会活動を行っていききたいと思います。

平取町が抱える様々な課題の中でも直面している大きな問題として、人口減少が特に懸念されます。生産人口が減少し高齢化が進むと当然の事ですが、産業の衰退、税収の減少、そして行政サービスの低下など町民にとって厳しい現実が待ち受けています。この大きな課題に対して平取町はどの様に取り組むべきか、町民、行政、議会が三位一体となって知恵を出し合いながら、議会人として責任のある判断をして行きたいと思います。



議長 千葉 良則



副議長 松澤 以久子

「心豊かな明るい町づくり」を目指すためには「町民・議会・行政」3つの力が必要です。そのために、広く多くの声を聞き、議員のなり手不足にならないよう、町民の皆さんとの対話に必要な活動を議員として、議会として積極的に行い、町政・議会に興味を持っていただけるように努力していききたいと考えております。



中川 嘉久 議員

地場産業最優先のまちづくりを目指すために、農業、林業、商工業を持続するためにも技術の発展とその普及を考えていきたいと思います。また、子供たちや高齢者の方々が楽しく生活するためにも、福祉の充実に力を注いでいきたいと思います。



四戸 正彦 議員

新しい年号令和の時代を迎えました。時代が変わっても平取町の人口減少は止まりませんが、町民のみなさんとのつながりを大切に個性と希望のもてる町づくりを目指し4年間頑張っていきたいと思います。そのためには、一つ、平取町の歴史、風土や文化を愛する心豊かな人づくり、二つ、子育てにかかる経済負担の軽減など安心して子育てができる町づくり、三つ、すべての町民が住み慣れた地域で安心して生活できる町づくりが必要だと思っています。



高山 修 議員

町民の皆さまと議会・行政が一体となり、「住み慣れた地域で、暮らし続ける町づくりを目指して」を目標に議会活動を進め、人にやさしいまちづくり、住民参加のまちづくり、行政改革、子育て支援、障がい者理解などを形にしていく議員活動を積極的に取り組んでいきます。皆様の声の代弁者として町民の意思を的確にとらえ行政と建設的な議論の中で町政に反映させることが期待されており、透明性の高い開かれた身近な議会を目指し、誠実・公正に活動していきます。



菅野 志朗 議員

2018年の統計による日本人の平均寿命は、男性が81.9歳、女性は87.26歳となっており、人生90年の到来も間もなくと思われます。平取町民の健康寿命を延ばし、誰もが我が家で最後を迎えられる環境を整えます。そのためには、行政の保健福祉課、社会福祉協議会や社会福祉法人平取福祉会などとの連携をはかり、町民の予防医療に力点をおき、健康で豊かに暮らせる「びらとり」実現のために力を注ぎます。



櫻井 幹也 議員

議会運営委員会委員長として、あらゆる会議において、誰もが公平公正に提案し、発言出来る環境を守りたい。その上で議会自らが政策の立案や議員倫理条例などの立法活動を行うためにも、政策会議や各委員会の活性化を図っていききたい。また、広報広聴特別委員長として自治基本条例に則り、議会の活動内容、議員の発言をこれまで以上に幅広く、積極的に発信していきたい。



木村 英彦 議員

平取町の特色・自然を生かした若者の雇用と定住を進め、地域の宝である子ども達を安心して育てられるような子育て支援の充実化を目指します。

「平取町に住んでよかった」「平取町に住みたい」と思えるようなまちづくりに全力で取り組んでいきたいと思っています。



藤澤 佳宏 議員

7月開院した国保病院に続き、近い将来、役場や消防庁舎、町民体育館などが耐用年数を迎え、大きな予算を伴う事業が目白押しです。更には、町営住宅も老朽化しています。また、本町市街地も大きく再開発の必要があると考えます。行政サービスの停滞を避けながら、安心な暮らしを守るには、町と住民の協調、協働が必要だと考え、健全な財政維持に取り組めます。



鈴木 修二 議員

6期24年間、議員を務めさせて頂きましたが過ぎてしまうと、あっという間であった気がします。この8年間は議長の職にあり、質問等は委員会や全員協議会ではしておりますが、一般質問はしておりませんので改めて取り組みます。これからも町民の皆さんの立場に立って、町政を一步でも前に進めるべく努力いたします。



井澤 敏郎 議員

町議2期目に入り、アイヌ文化伝承推進特別委員長と平取町軽種馬産業活性化議員連盟会長に就任しました。5月に成立したアイヌ新法による新交付金事業を平取町として、どう実現していくのかをアイヌの方々と町民と行政と議会を進めて行きたいと考えています。町議選で公約しました平取町立アイヌ民族大学の設立も、その延長線上にあると考えます。軽種馬産業の活性化も課題が多いですが、力を入れて取り組みます。



ここが聞きたい

一般質問

6月定例議会では、5名の議員から6件の一般質問がありました。

菅野 志朗 議員

役場庁舎に

エレベーターを

問 役場庁舎の2階には議会、建設水道課などがあり、車椅子の利用者や障がい者にとっては事務手続きなどで来庁する際、非常に不便があります。町内でエレベーターがついている公共施設は、ふれあいセンター、国保病院、振内町民センターの3カ所だけです。現在ではバリアフリー化は当然のことだと思いますので、設置する考えはないのか伺います。

答 (総務課長)

現在、本庁舎の2階への一般町民の利用としては、建設水道課において町営住宅の事務手続きに来る人や工事業者などが多くを占めています。階段の利用が困難な方は職員が1階のミーティングスペースで対応しています。費用としては最近の例では振内町民センターで2500万円程度、年間の保守点検で40万円となっています。また本庁舎の入り口から職員ロッカー室までの間には設置可能な場所もなくエレ

ベーターの取付は考えていません。



△役場庁舎

問 先般、ある生活館を訪れましたが、スロープに机などがぎっしり置かれており、利用者に不便をかけている状況でした。他の生活館、集会施設の状態を含め、町は自治会等へどのように管理委託をしているのか伺います。

答 (副町長)

当該生活館の状況を自治会の方に確認したところ、訪れる前日に自治会行事が生活館であり、その後片づけが不十分で机などがスロープに置かれたままになっていたことが分かり、間もなく片付けられています。その後、この生活館を含めたスロープが設置されている生活館へは管理を徹底していただくように通知しました。

四戸 正彦 議員

役場庁舎の建替はいつか

問 平取町の公共施設の中には耐用年数を越え、老朽化が進んでいる施設があります。昨年の胆振東部地震で、本庁舎の内外部に数多くの亀裂が入り窓ガラスも一部破損のある状況で、安全に働く場所とは言えません。第6次総合計画の中で庁舎新築計画はいつ頃予定しているのか、また、他の公共施設等にも被害があったと思うが、それらの再整備についても考えていないのか伺います。

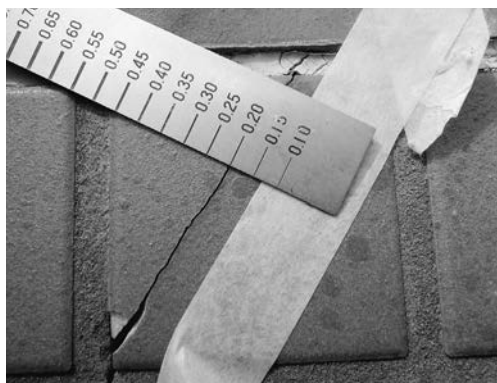
答 (総務課長)

昨年の胆振東部地震で庁舎に被害がありました。修復は済んでいます。第6次総合計画のうえでは、令和3年から庁舎建設のための準備金を積み立てながら令和6年に実施設計等を行う予定になっています。

答 (副町長)

建築基準法の耐震については、古い各公共施設が基準を満たしていないことは町としても認識しています。再整

備に関しては財政的条件も必要となりますが後期の総合計画の中で考えます。

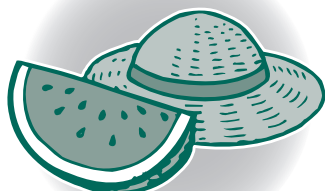


△ふれあいセンターの亀裂が入った外壁

問 現在、ふれあいセンターには町民課と保健福祉課が入っていますが、それ以外の課を利用する場合には役場庁舎まで足を運ばなければならず町民は大変不便を感じています。各施設の維持費は役場本庁舎が約2000万円、ふれあいセンターでは約2500万円の費用がかかっています。今後とも人口減少が続いていく中で、維持費の削減も含め老朽化した本庁舎とふれあいセンターを統合し、コンパクト化する考えはないか伺います。

答 (町長)

現在、庁舎内のプロジェクトチー



△ふれあいセンターびらとり

ムで、古い施設について洗い出しをし
ながら全体的な整備計画を検討してい
ます。今後、公共施設等の需要が変化
していく状況の中で全体を把握しなが
ら、統廃合、長寿命化などを計画的に
行うことで財政負担を軽減することが
重要と認識しています。本庁舎も築53
年が経過し、昨年の胆振東部地震によ
り耐久性が低下していますので後期5
年計画の中で具体的に明記したいと
思います。

金谷 満 議員

医療連携室の設置につ いて

問 患者さんが二次医療を総合病院等
の専門医に速やかに診察をしてもらい、
その後もスムーズに地元の病院で診療
を続けられるという、患者さんにとつ
て重要な役割を担うのが医療連携室で
す。現在、都市圏との救急医療連携に
ついては実施されていますが、通常の
診療についての医療連携は不十分です。
患者自身の判断で都会の二次医療を受
けようとしても、受診先に診療記録が
無く長時間待たされる、また、初診料
は保険適用にならず高額となり、患者
さんに係る負担が大きくなります。そ
うした負担を軽減するためにも、また、
逆紹介の患者受け入れをスムーズにす
るためにも、医療連携室を早期に立ち
上げることが、不可欠と考えますが、い
かがでしょうか。

答 (事務長)

医療連携室は、他の医療機関、包括
支援センター、社会福祉協議会との連
携、患者の家族からの相談業務と考え
ています。平成27年度に医療相談地域
連携担当を配置し、連携室の役割は果
たされていると思いますし、包括支援



△平取町国民健康保険病院

センター、社会福祉協議会との連携も
うまくとれていると考えています。新
たに設置し専任職員を配置する方がよ
り良いかもしれませんが、当院の規模
経営状況を考えると現在の体制で対応
していきたいと考えます。逆紹介の患
者についても、可能な限り受け入れて
いると思います。

答 (町長)

逆紹介の患者の連携については、苫
小牧市立病院、苫小牧市長に、お願い
した経緯があります。今後逆紹介へ
の対応を強化し、在宅医療介護連携相
談室や地域医療相談連携室についても
時代のニーズに対応して取り組み、改
善していきたいと考えます。

問 病院が新しくなり、町民が大きな
期待をする中で、受付時間を15分も短
縮したことに疑問を感じますが従前の
様にならないか伺います。

答 (事務長)

以前に午前中の診療が長引き、午後
1時の診療開始に影響がでたことがあ
りました。午後の診療開始に影響が出
ないようにすること、また職員の休憩
時間の適切な確保も考慮し、院長から
の意見を聞き、受付時間を11時15分と
しましたが、このことについては、持
ち帰り病院内部で協議をします。

問 改革プランは5年毎に医療と介護
の連携等や病院の経営も含め見直しを
図るもので大きな役割を果たしていま
す。中でもリハビリテーションの機能
強化と在宅医療などは、いつから実施
するのか、また経費削減と新たな取り
組みについて計画しているか伺います。

答 (事務長)

改革プランは、4つの視点で取り組
むことを求められています。①経営の
効率化、②再編ネットワーク化、③経
営形態の見直し、④地域医療構想を踏
まえた役割の明確化となっています。
また、日高区域地域医療構想では受療
動向は回復期から、慢性期の患者が多
いことからリハビリテーション機能の
強化と在宅医療などが必要であると策
定されています。しかし、新病院では

リハビリ室の施設基準を満たしましたが整形外科医の退職により今後診療体制から検討し直さなければならぬ状況です。在宅医療についても訪問リハビリを想定して、医療保険、介護保険によるリハビリなどを含めて今後検討を進めていきたいと思います。経営の効率化についても定年退職者に合わせた中で、人員の削減を行い経費削減を実施したと考えています。

井澤 敏郎 議員

二風谷コタン周辺整備の今後の計画は

問 平成28年から二風谷コタンでは市街地、観光機能、アイヌ文化施設や看板が整備されましたが、完成後いくつかの課題が見えてきました。中でも、国道沿いの電柱は景観を大きく損なっていると思います。今後、電柱の地中化を計る計画はあるでしょうか。また、その場合、アイヌ新法に伴う新交付金の利用は可能でしょうか。

答 (まちづくり課長)

二風谷地区再整備計画の検討会議で電柱の地中化も議題となりましたが、実施するには、北海道電力、NTT、開発局などの協議が必要で、平取町としての費用負担も相当額必要な

ことから計画には含まれていませんでした。しかし今後も検討会議で景観に配慮した整備を進めます。アイヌ新法に伴う新交付金については国の指針が出ていないので、可能性があれば考えます。



△二風谷コタン周辺

問 二風谷コタンで特に「匠の道」周辺の整備が必要と思いますが、いかがでしょうか。

答 (まちづくり課長)

本年度予算で、コタン周辺の修景事業が計画されており、それを国交省の「町なみ環境整備事業」として現在、事業の要綱整備を行っています。予算は180万円で、屋根、壁や生け垣等による景観修復も考えられています。

問 二風谷コタンに観光地として電気自動車等の充電設備や燃料電池車用の水素充填設備が必要と考えます。近隣

町に整備されていますが、平取町として検討すべきと思うのですがいかがでしょうか。

答 (まちづくり課長)

電気自動車とプラグインハイブリッド車の普及によつて全国的に充電インフラの整備が進んでいます。二風谷に限らず町内で設備の検討が必要な時期になっていると考えます。水素充填設備については充電設備の後に検討します。

斎場待合室狭隘対策は

問 斎場で年に数回ですが、利用が重なることがあり、待合室が狭くて混雑しています。また、和室は靴を脱いで上る必要があり、高齢者の方や足の不自由な方には不便ですので、和室や待合室を改築する考えはありますか。

答 (町民課長)

斎場は昭和52年の完成で41年が経ち老朽化も進んでいます。過去の一般質問で何度も改善を求められていますので、総合計画の見直しの中にも要望している状況ですが実現していません。現地を確認して再度検討したいと考えています。



△斎場待合室

松澤 以久子 議員

町民の憩いの場作りを

問 平取町には、平取町民公園条例のもと、義経公園、二風谷ファミリールンドなど9カ所の公園が設置されています。その他にも公営住宅の中の児童遊園地が6カ所あります。これらの遊園地は平取町営住宅整備基準に基づいて整備していますが、条例規則等の対象になっていない状態ですので、現状に合わせた条例規則の整備が必要です。また、保育所等に通っていない子ども達の遊ぶ場所や、住民の余暇のために

児童遊園地の設置及び管理は、「公営住宅の整備は条例で定める整備基準に従いこれに合わせて共同施設を整備するよう努めなければならない」と規定され、町内の団地に児童遊園地を整備したものです。条例等の整備は、今後、関係課と十分協議していきます。また、平取町における高齢化率が年々増加し、児童遊園地としての役割や住民ニーズも時代とともに変化している状況ですので、今後、子どもだけでなく高齢者の健康づくりや余暇の場を提供する公園としての役割も十分考慮し、地域の要望を聞きながら整備を検討したいと考えています。

答
 （保健福祉課長）



△風谷児童遊園地

気楽に集まれる場所も必要だと思えます。実情に合わせた新たな設置もすべきと考えますが、いかがでしょうか。

新しくなった議会の構成

議 長	千葉良則	副議長	松澤以久子	監 査 委 員	四戸正彦
-----	------	-----	-------	---------	------

名 称	委員長	副委員長	委 員		
議会運営委員会	櫻井幹也	金谷 満	高山 修	中川嘉久	松澤以久子

● 常任委員会 ●

名 称	委員長	副委員長	委 員			
総務文教常任委員会	高山 修	萱野志朗	四戸正彦	櫻井幹也	井澤敏郎	
産業厚生常任委員会	中川嘉久	木村英彦	金谷 満	鈴木修二	藤澤佳宏	松澤以久子

● 特別委員会 ●

名 称	委員長	副委員長	委 員		
沙流川総合開発特別委員会	藤澤佳宏	高山 修	四戸正彦	中川嘉久	松澤以久子
アイヌ文化伝承推進特別委員会	井澤敏郎	萱野志朗	金谷 満	木村英彦	鈴木修二
広報広聴特別委員会	櫻井幹也	高山 修	※議長を除く全議員		

● 一部事務組合 ●

胆振東部日高西部衛生組合議員	高山 修	中川嘉久	
日高西部消防組合議員	金谷 満	四戸正彦	松澤以久子
平取町外2町衛生施設組合議員	櫻井幹也	鈴木修二	藤澤佳宏

名 称	会長	副会長	理事	監事	事務局長
森林・林業・林産業活性化平取町議会議員連盟	中川嘉久	木村英彦	萱野志朗	四戸正彦	藤澤佳宏
平取町軽種馬産業活性化議員連盟	井澤敏郎	金谷 満	鈴木修二	萱野志朗	櫻井幹也

総務文教産業厚生合同 常任委員会質疑応答

5月16日開催
事務調査の一部について
お知らせします。

平成30年度の平取町債権管理条例に基づく私債権等の放棄については、106名247件で380万5273円の報告がありました。

Q 放棄決定日はいつになるのか。

(高山)

A 臨時議会で承認いただき、債権放棄決定となります。

9月の地震による平取温泉ゆからのエアコン室外機取替工事103万円の予算補正について説明がありました。

Q ゆからの保守管理は委託しているのか。

(金谷)

A 特に委託契約は結んでいません。今回故障したエアコンのメーカーに、責任施工ということをお願いしました。

9月の地震による影響と思われる去場団地1基、新二風谷団地3基の浄化槽の損傷補修及び取替えに要する費用500万円の予算補正について説明がありました。

Q 以前に紫雲古津地区の新規就農者の住宅で浄化槽が壊れた事があったが、施工上に問題は無かったのか。

(四戸)

A 中を全部汲み取って確認したが、

地震によるものと判断しています。

又タツツ林道の災害復旧にかかる今後の対応について説明がありました。

Q 又タツツ線における今後の事業計画はあるのか。

(千葉)

A 町有林の皆伐事業が完了しており、引き続き、翌年から実施する予定でした。又、林業専用道の川向線が既に調査設計を終えていて、今年度、着工予定でした。

Q 文化的景観内ということで、外来種が入らない様にするなどの配慮はしているのか。

(木村)

A このエリアの工法については、教育委員会とも事前協議をしており、抵触しない形で対応します。

14戸の民家が存在している本町49番地1を寄付するという条件で、A氏所有の土地、隣接するB氏所有の土地を公共施設の集約化、あるいは公営住宅建設用地として財産購入するとの説明がありました。

Q 本町49番地1についての計画を聞きたい。

(松澤)

A 市街地に公共施設を集約し、併せ

て複合化も考えながらという将来においての方向性は持っています。プロジェクトチームの中で更に考えていきます。

Q 購入価格については、前回の説明では、もう少し安価であった気が

総務文教常任委員会 質疑応答

6月6日開催
事務調査の一部について
お知らせします。

町内の公共施設における受動喫煙防止対策について説明がありました。ただし、役場本庁舎、ふれあいセンターについては、特定屋外喫煙場所として標識を設置する。又、二風谷アイヌ博物館、沙流川歴史館、アイヌ文化情報センターについては、二風谷コタン公園内の施設として、駐車場を除く園内は禁煙とする。

※電子たばこは改正法の規則対象外。
※第一種施設については7月1日から実施。
※第二種施設については自治会等と協議の上、令和2年4月から実施。



するが。
A 公共団体と契約すると分離課税の所得税がかからないという事もあるが、交渉しましたが、再開時の事例もあつて今回は、この価格が妥当であると判断しています。

分類	国の受動喫煙防止対策	町の対応方針	対象施設名
第一種施設	敷地内禁煙	敷地内禁煙	役場庁舎、ふれあいセンターびらとり、町内小中学校、国保病院、振内支所、貫気別支所、中央公民館、町民体育館
第二種施設	原則、屋内禁煙	屋内禁煙	各生活館等集会所（生活館、生活改善センター等）、振内青少年会館、貫気別町民センター、二風谷アイヌ文化博物館、アイヌ文化情報センター、荷葉多目的研修施設、岩知志ふれあい館、長知内ふれあいセンター、みどりが丘住民センター、貫気別福祉センター等

区分	変更前	変更後
補助率	1 / 3	1 / 2
補助限度額	50 万円	30 万円
工事下限額	50 万円	30 万円
補助対象者	空き家の所有者が改修しようとする場合は、3 年以上居住しようとする3 親等以内の親族以外の利用者がいること	空き家の所有者（利用者が3 親等以内の親族を除く）
対象工事	改修のみ	・「専用住宅の解体」を追加 ・別表を追加し、住宅リフォーム補助要綱との整合性を図った
施工業者	町内業者	原則として町内に住所を有する建設業者等（多忙や特殊な施工方法により町内業者が実施できない場合を想定）

定住促進空き家改修事業補助金交付要綱が失効となったことから、新たに補助制度を制定するとの説明がありました。

※例えば、持ち主が分からない支障物件などの取り壊しについては、協議会の立ち上げも含め準備中です。変更点は次の表のとおり。

Q 臨時非常勤職員の適正な任用、勤務条件の確保が図られる様、会計年度任用職員制度についての説明がありました。

Q 会計年度任用職員の人事評価によって契約の更新が図られるのか。

（高山）

A 最終的には町長、副町長が承認をするが、評価自体は現場の課長ということになります。

Q 嘱託職員・臨時職員が正職員と同じ労働条件の中に置かれても、給与・退職金の面でも縮まることがないという点に對する対応なのか。（井澤）

A 同一労働、同一賃金ということは、一つの要件としてはありますが、全く同じにはならないものの、共済加入、退職手当も制度化され、勤務条件も良くなります。

平成30年度の不納欠損処分について平成14年度から平成30年度の滞納処分の停止に係る分として、104件総額871万2156円を一括して不納欠損処分とする説明がありました。

Q 滞納整理システムの導入によって消滅時効の優先というものは起こらないものと認識していたがどうか。

（櫻井）

A これまでの滞納状況の情報を蓄積し、分納誓約や財産調査といった業務をきちんとやって来たかどうかも含め、

全てを明らかにし、一旦このシステムで整理したものが今回の処分内容です。今後は時効による欠損が発生しない様、対応していきます。

Q 私債権と非強制徴収公債権についての報告はあるが、強制徴収公債権について

産業厚生常任委員会 質疑応答

6月6日開催
事務調査の一部について
お知らせします。

プレミアム商品券の概要について消費税引き上げにより低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を喚起を促すなどを目的とした国庫補助100%の事業の説明がありました。

①購入対象者は、2019年度の住民税が課税されていない方。
②2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた子どものいる世帯の世帯主。購入限度額は、一人2万円（2万5千円の商品券）。商品券使用期間は、今年10月1日から来年3月末まで。

5月21日の降雨による町単独災害復旧事業についての補正説明がありました。復旧箇所は旭1、貫気別2で、いずれも今後の農地への被害を防ぐための堆積土砂の除去。

関しては、決算審査特別委員会の時に不納欠損額という形で報告されているが、常任委員会の中で示すべきではないのか。

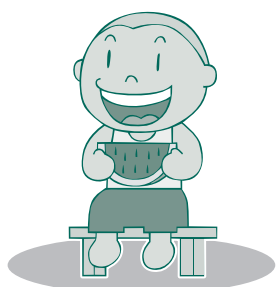
（櫻井）

A 2月の常任委員会には、私債権とあわせて報告します。

Q この箇所については、平成28年にも同じ様な状況になっていて、いわゆる「山が動いている」といったことではないかと想定されるのですが、それに向けた対策についてはどう考えているのか。

（中川）

A 旭地区は上流が国有林ということで森林管理事務所に話はしていますが、措置等はされていません。今後、道にも小規模治山等を含めて要望していきます。



▼平取町国民健康保険病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 新旧対照表（下線の箇所が改正部分）

現 行 案		
区 分	金 額	適 用
特別室料	A 1日につき 1,200 円	個室
	B 1日につき 550 円	希望によって1室を占有する 場合 1日につき 1,100 円
	C 1日につき 300 円	希望によって1室を占有する 場合 1日につき 600 円



改 正 案		
区 分	金 額	適 用
特別室料	A 1日につき 3,000 円	個室（トイレ・シャワー付き）
	B 1日につき 1,000 円	2床室・1床室（トイレ付） 2床室を希望によって占有する 場合は1日につき 2,000 円



平取町国民健康保険病院に関する条例の修正について
改正案は病床数を48床から42床へ、整形外科を標榜から外し眼科を追加。使用料及び手数料の一部を改正するとの説明がありました。

Q 新改革プランの中にリハビリ機能強化ということで高齢化社会の中で整形外科には住民もかなり期待をしている。そのためには、標榜から整形外科を外すのではないと思います。また、今後、医師の招へいについてはどう考えているのか。
（金井）

A 標榜については、保健所からも実態に合わせるのが望ましいとの意見はいただいている。また、現在、外科医はあり、常勤医も3人であることから、経営的な面も考慮しながら、出張医という形で対応したいと考えます。よって、標榜にも残すこととしたいと思います。

※標榜：広告に表示できる診療科の名称

平取町から園大規模改修工事について
事業主体は平取福祉会で、福祉会が道補助金の申請を行い、町は負担額を補正し補助金を交付するものと説明がありました。

Q 従前より、かつら園2分の1、町2分の1の負担額であったはずが、今回3分の1になっている。負担割合についての基本的な考え方を伺いたい。
（鈴木）

A 負担額の規模にもありますが、一応基準としては単独事業2分の1、補助事業3分の1となっていますが、福祉会の財政状況などを鑑みた中で協議し、弾力的な対応をしたいと考えています。

Q ふるさと納税指定制度の運用について今回、「ふるさと納税」を自治体が実施するにあたっての募集経費を5割以下にすること、返礼品は納税額の3割以下にすることなどの指定基準が示されたとの説明がありました。

Q 平成30年度のふるさと納税額1億3500万円に対して、募集経費等を引いた実質的な納税額はいくら位になるのか。また、その基金を利用して商品開発も進めてほしい。
（木村）

A 3500万円程の基金積み立てが出来ました。



△第50回1歳馬品評会

▼6月24日（月）に平取町軽種馬生産振興会主催の「第50回1歳馬品評会」が開催され、8牧場から11頭の出品があり、審査が行われました。今回は牡馬のみの出品でしたが、最優秀賞には、清水牧場のサブラタの2018（父リサーチザクワン）が選ばれました。

▼7月9日（火）に日高町で日高地区役員会が開催されました。

**軽種馬産業活性化
議員連盟報告**

審議した議案

第3回

臨時会

令和元年
5月9日

4月の町議会議員選挙後の初議会が招集され、正副議長の選挙、各委員会委員の選任などが行われ、別表のとおり新しい議会構成が決まりました。

▼正副議長選挙結果

◇議長 千葉 良則

◇副議長 松澤以久子
(有効投票12票のうち7票獲得)

◇議会議長選挙結果
(有効投票12票のうち7票獲得)

議会議長選挙結果
(有効投票12票のうち7票獲得)

議会議長選挙結果
(有効投票12票のうち7票獲得)

▼専決処分報告

①国民健康保険税の基礎課税額等に関する条例の改正

②一般会計補正予算(第17号)

日高西部消防組合負担金75万円を追加し、総額7億7046万8千円とするものです。

③国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

保険給付支払準備基金積立金など957万6千円を追加し、総額8億835万3千円とするものです。

第4回

臨時会

令和元年
5月27日

▼条例の改正

・平取町税条例等の一部を改正する条例
(ふるさと納税制度の見直しに係る個人住民税の改正等)

・平取町介護保険条例の一部を改正する条例(保険料の減額賦課規定の改正)

・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約(加入団体の変更)

・北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約(加入団体の変更)

▼計画の変更

・平取町過疎地域自立支援促進市町村計画の変更(各施設の省エネルギー化設備導入事業等の追加)

▼一般会計補正予算(第1号)

9220万5千円を追加し総額60億8020万5千円とするものです。
補正の主なものとは次のとおり。

・合併浄化槽設置費補助金217万円

・伝統文化親子教室事業委託料他 91万円

【災害復旧工事費関連】

・公営住宅災害復旧工事(去場・二風谷) 560万円

・奥地林道又タツプ線災害復旧工事 8248万円

・びらとり温泉修繕料 103万円

▼放棄した債権の報告

・平取町債権管理条例に基づき、排水処理、専用柱、社会福祉資金、医薬収入、土地建物貸付収入、住宅改良資金など、同一債権額が100万円以下の債権のうち、一定の要件に該当する約380万円について債権を放棄した旨を町より報告。

第5回

定例会

令和元年
6月20日

▼固定資産評価委員の選任

蘆原宏昭氏(振内町)の選任に同意しました。

▼条例の改正

・平取町国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(診療科目「眼科」の追加と病床数の改正)

・平取町国民健康保険病院使用料及び

手数料条例の一部を改正する条例(特別室料の改正)

▼一般会計補正予算(第2号)

3337万3千円を追加し総額61億1357万8千円とするものです。

補正の主な内容は次のとおり。

・民間賃貸共同住宅整備費助成金

統計(経済センサス)調査費 260万円

平取かつら園大規模改修事業(特殊浴槽整備含)補助金 592万円

プレミアム付商品券事業システム改修委託料 54万円

住宅用地取得費 2066万円

災害用情報通信設備・備品他 147万円

小学校特別支援教育支援員賃金他 182万円

中学校特別支援教育支援員賃金他 137万円

農業排水路災害復旧費 150万円

工事請負契約の締結

○奥地林道又タツプ線 災害復旧工事(11号箇所)

工事概要: 施工延長1187m

工事金額: 7260万円

請負契約者: 榊五十嵐工業

決算認定

平成31年3月31日をもって解散した

日高地区交通災害共済組合一般会計

歳入歳出決算を監査委員の審査を経て報告があり認定されました。



第5回平取町議会定例会教育行政報告

学校教育

令和元年度における児童生徒の状況につきましては、5月1日現在、小学校5校あわせて242名、中学校2校で126名、合計で368名となっております。その中で特別支援学級への入級者は、小学校10名、中学校4名となっております。

児童生徒の総数では、前年度より小学校で11名の減、中学校では3名の増となっております。

単独採用の教員については中学校2名、時間講師が小学校1名、特別支援教育支援員については、小学校5校、中学校1校において、あわせて12名を配置しています。

また、本年度における、全国学力・学習状況調査につきましては、4月18日に実施しましたが、全学校参加することともに、実施後速やかに自校採点を行い、各学校における課題等の分析把握に努めている状況です。

また、町独自で行なっている標準学力調査につきましては、同日全ての小学校で実施し、小学校2年生から5年生、中学校1・2年生が受けており、その結果を各学校に戻し、課題等の分析把握に役立てることにしています。

また、昨年、平取小学校、平取中学校から始まりましたコミュニティスクール（学校運営協議会）も、今年度町内全小中学校でスタートします。

昨年度から通年開校しています公営塾「びらとり義経塾」では、現在中学生76名（60・3％）、高校生30名（44・1％）の106名の受講が始まっています。今後、高体連、中体連の終了後更に受講生が増える事が予想されます。

社会教育

児童館・児童クラブのない地区の小学生の放課後の居場所づくりとして実施している「放課後こども教室」を紫雲古津、二風谷、貴氣別地区で今年度も開設しており、紫雲古津23名、二風谷13名、貴氣別34名の児童が参加しています。

社会体育

遊びを中心とした体力づくり「リトルラビットスポーツクラブ」を本町では小学校1年から3年まで、貴氣別地区で1年生から6年生を対象にすでに開催し2地区合計で49名の子ども達が参加している状況です。

4月27日には、リニユールしまし

た平取町営球場のオープニングセレモニーに合せ、北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ（少年野球教室）を開催しており、34名の小中学生が参加しています。



△北海道日本ハムファイターズによる少年野球教室

文化財

4月23日から5月26日まで沙流川歴史館において企画展「切手の歴史展」を開催しています。

6月1日には博物館4号チセ（トウチセ）の改修工事完了にともなうチセノミ（新築を祝う儀礼）を行っています。

◆住民懇談会の開催

申し込み

平取町議会では、町民の皆様から町政や町議会に対し日頃考えていること、感じていることなどの意見を伺い、今後のまちづくりに反映させていくための懇談会を開催しています。申し込みは、個人・グループ・団体を問わずいつでも受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。

◆申し込み先

平取町議会事務局
平取町本町28番地（役場2階）

TEL 2・222・7
FAX 2・398・8



～記念特集～

議会だより第100号の 発刊によせて

平取町長 川上 満

町議会だよりが記念すべき第100号の発行を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りです。平成6年8月の創刊以来、定例会の概要など町議会の活動状況を町民の皆様に広く知っていただくことを念頭に、町議会広報特別委員会において積極的に議論を重ね、分かりやすい紙面づくりに努めていることに改めて敬意を表する次第であります。近年ではインターネットを活用した情報発信が普及していますが、町議会だよりは、町民の皆さんが直接手にとって町議会の活動を身近なものとしてご覧いただけるという点において、これからも町議会広報の中心的な役割を担っていくものと考えます。平取町は明治32年に門別戸長役場から平取町外八力村として独立して以来、120年の節目の年を迎えたところであります。さらには、令和の時代を迎え地方自治体を取巻く情勢は依然とて厳しい状況にありますが、先人が築いた礎を基に町議会と行政は車の両輪となって「安全で安心して暮せる町づくり」に全力を上げなければなりません。

この第100号の発行を一つの通過点として、今後においても議会と町民とを結ぶ太いパイプ役となり、より親しまれる議会だよりとして一層の充実を図られますことをご祈念いたしまして、お祝いの言葉とします。



平取町議会議長 千葉 良則

平成6年8月に創刊以来、「私たちの町議会びらとり」も記念すべき発刊第100号を迎える事が出来ました。私自身も平成15年議会議員に初当選後、選択の余地もなく直ちに議会広報特別委員会委員に任命された事を思い出します。その時は戸惑いながらも多くの町民に議会活動の様子や町政の現況を理解して頂く広報誌として大変重要な役割を担い、自分自身の議会活動の勉強としても大きく影響を受けて来た印象があります。

これからも多くの町民からご意見をいただき参加していただける議会広報誌として、小さな紙面でも今まで同様充実した内容を継続出来ればと願っております。また、自治基本条例の情報公開に則り、議会傍聴に來られない町民のためにも、時代に即した取り組みの一環として、インターネット等の配信についても広報誌の発刊継続と併せて、検討される時期に來ているのかも知れません。

今後も町民の皆様方からのご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、100号発刊にあたっての一筆と致します。



あの人に聞く

～平取町議会に期待すること～



日頃北海道びらとり会にご支援を頂きありがとうございます。町議会に期待することは、議員による議案の提案が活発に行われ、議会が提言する機関として常態化していることです。地域課題をきめ細かく把握するための努力は日々行っていると思いますが、本業を持ちながらの議員活動であり限界があると思います。しかし、住民から上がってくるのを待つだけではなく積極的な情報収集や議員がいない地区の課題把握などが常態化の前提です。

更に、多様な意見を町政に反映させるためには、議会に複数の女性議員や若手議員の存在が必要です。全国的に町村議会議員のなり手不足の問題がありますが、議員の皆様には、日頃から人材発掘に心掛けて頂きたいと思います。また、町の活性化に関連して、7月に開院した平取の国民健康保険病院（国保病院）を地域医療の中核病院として機能させるための活動も議会に期待します。近隣の国保病院が診療所への変換を余儀なくされている現状があり、平取の国保病院の重要性は益々高まってきます。将来、病院経営が町の中核事業の一つに育っていることを願っています。

北海道びらとり会会長 廿日岩 久典 さん



今、世界は大混乱の真只中にあると思われます。政治も経済も目先の利便性と利己的な利益追求のあまり、最も大切なものが何であるかを忘れた異常な競争社会が、結果として人類にとって最大の危惧である極限的な異常気象も招きつつあります。翻って、ふるさと平取町は、恵まれた大自然と文化を活かしながら育てた農業と観光により、特色あるまちづくりを進め成果を上げつつある現状に、町議会が大きな役割を果たしていることに敬意を表します。札幌びらとり会も、側面から応援させて頂いておりますが、高齢化が進み若い会員の増強と活力をつけるべく努力しているところです。町議会の皆様には、何が起こる

か予測のつかない今、町が進めているこの方向に磨きをかけ、地域にある資源を全て有効活用循環させ、環境を浄化保全しながら、安全でおいしい作物をつくり、楽しい仕事をつくり、健康で命ががやく持続可能な、循環型まちづくりをめざす土壌づくりをして頂ければうれしいです。18歳まで暮した思い出は一杯で、我がふるさと平取は私の誇りです。

札幌びらとり会会長 石川 文雄 さん



「苫小牧びらとり会」は、平取町出身者の苫小牧市民による親睦会で、平成元年に設立総会を経て呱呱の声をあげ、今年で31年目になりました。当初、苫小牧信用金庫理事長の林啓司氏が関係者に呼びかけて実現したのですが、設立の目的は平取町出身の苫小牧市在住者の情報交換と故郷談義を楽しむ場所の提供でありました。その後、ふるさと「平取町の応援団」として平取町のお役に立つ活動も加わり今日に至っております。発足準備には、苫小牧信用金庫関係者の東口氏、福士氏等が加わり、私もそのメンバーに招かれて今日まで関わっています。福士氏の調査による平取町関係データでは、当時の平取町出身苫

小牧市民は約680名で、「苫小牧びらとり会」を作ろうと名簿の整理や総会の案内発送に携わったことが思い出されます。私は現在、林氏、東口氏に続く3代目の会長でその後今日まで約25年以上経過しましたから、更なる発展には、会長の交替も視野に再構築をすべきと周囲に話をしています。さて、平取町議会は千葉議長、松澤副議長のもと、12名の議員さんが人口減少や経済発展等々の町勢回復諸課題に日々取り組まれていることは頼もしく、我がふるさと平取町議会議員には、会員一同これからも期待をしています。また、議員の方々は「苫小牧びらとり会」の各種行事にも川上満町長といつもご一緒にお運びいただいております、会員達が「ふるさと平取町」を肌で感じられるようなご配慮を頂き、大変有難く思います。会員を代表して感謝申し上げますとともに、末永くご厚誼賜りますようお願い申し上げます。時あたかも元号は令和です。平取町議会議員各位が厳しい覚悟と協調の柔軟さで、日々の議会活動をされている姿に、心からの敬意を表します。

苫小牧びらとり会会長 田中 稔 さん